



コタンメール 第41号

平成 21 年 3 月 15 日 発行



「アイヌ文化フェスティバル」アキ ルウエ ネ（開催しました）！

「2009 アイヌ文化フェスティバル in しらおい」（主催 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構、しらおいアイヌ文化フェスティバル実行委員会）が 3 月 14 日、白老中央公民館で開催されました。会場には町内外から約 800 名が参加し、5 感を通じてアイヌ文化を堪能しました。

フェスティバルの成功を祈願するカムイノミ（神への祈り）に始まり、つづいて町内で活動する工芸家の作品が紹介されました。伝統的生活空間（イオル）再生事業の紹介では、今年度から実施された担い手育成講座の受講者 8 名が白老のウポポに合わせて活動報告をおこないました。



◆トンコリ演奏（アイヌ民族博物館）

また、NHK札幌のアナウンサー村上里和氏による「アイヌ神謡集」の朗読、白老小学校に通う山内姉妹によるトンコリ（五弦琴）の演奏や歌が披露されました。遠く沖縄からは、花笠に紅型などの艶やかな衣装を身につけて舞う琉球舞踊も紹介され、北と南の芸能交流の場ともなりました。

（むらき みゆき）

お昼には、北海道ウタリ協会婦人部や「ポロトの母さんの会」による手作り弁当、500 食が配られ、参加者は鮭や鹿肉、ギョウジャニンニクなどの伝統食材を生かした料理を楽しみました。ヒエで造ったお酒やナギナタコウジュ茶も好評でした。

午後の芸能の公演では、アイヌ民族博物館や白老民族芸能保存会による芸能が披露されました。アイヌ古式舞踊は今年 9 月にもユネスコの無形文化遺産に登録される予定です。

東京からはアイヌレブルズが参加し、パワフルでエネルギッシュなステージで参加者を魅了しました。アイヌレブルズは首都圏に在住するアイヌ民族の若者が中心となり 2006 年に結成されたグループで「楽しく、かっこよく」をモットーに積極的な活動をしているグループです。



◆花笠踊り（琉球舞踊）



ハイプンカラ（ツルウメモドキ）の繊維を採取

3月17日から3日間、イオル担い手育成事業の一環として、糸の素材になるツルウメモドキの採取と繊維の処理を行いました。



ツルウメモドキは名前のとおりつる性で、発見は容易ですが、コクワやマタタよく似ているため、木肌の色合いや斑点、枝のつき方を見ながら注意して採取しました。

採取したツルウメモドキの樹皮から内皮部分の繊維を剥ぐと、鮮やかな緑色で、とても柔らかい繊維でした。オヒョウやイラクサからも糸が作られますが、ツルウメモドキの繊維が最も強く、他の繊維よりも糸にする課程が容易なのだそうです。

上質な繊維がたくさん取れ、束にしてまとめた後、漂白する作業を行いました。漂白には、繊維を熱湯に浸けてから雪の上に晒す方法と、同じく熱湯に通した後に戸外の竿に掛けて放置する



方法との二通りがあり、今回はその両方を実施しました。完全に白色化されるには、雪上では約2週間、竿ではその倍は要するのですが、漂白処理を行った次の日に様子を見に行くと、きれいな真緑だった色がほとんど抜け、白色化が進んでいました。

繊維が完全に白くなったら、撚り合わせて糸にし、チェプケレ（魚皮製靴）を製作する際の縫い糸に使う予定です。

◆採取した繊維

（きだ みずえ）

行事案内

春のコタンノミ 平成21年5月2日開催

- 場所：アイヌ民族博物館ポロチセ ●開場：10時30分 開始：11時
- 参加無料 ●内容：カムイノミ、芸能公演、伝統食体験など

メタボックルに聞こう

Q：メタボックルさん、イランカラブテ。今日は「クメライケ」ですか。

メ：メライケったら「寒く感じる」という意味ネルウェネ。

Q：確かに今日は寒いですね。メライケー。

メ：「ク」をつけてクメライケと言うもんだルウェネ。

Q：ええと、クメライケですか。

メ：エー。それで「おら寒い」っちゅうことネルウェネ。

Q：イヤイライケレ。クメライケなのであったかいお茶がほしいです。



メタボックル：身長50mm 腹囲？ 出身？ 年齢？

行きつけスポット アウトレットモール RERA